

2015 年度夏季の電力需給対策について

2015 年 5 月 22 日
電力需給に関する検討会合

2015 年度夏季の電力需給見通しについては、経済産業省の総合資源エネルギー調査会基本政策分科会の下に設置した「電力需給検証小委員会」において、第三者の専門家による検証を行った。

政府としては、いかなる事態においても、国民生活や経済活動に支障がないよう、エネルギー需給の安定に万全を期すべく、電力需給検証小委員会による需給見通しを踏まえて、2015 年度夏季の電力需給対策を決定する。

1. 2015 年度夏季の電力需給見通し

2015 年度夏季の電力需給は、猛暑となるリスクや直近の経済成長の伸び、企業や家庭における節電の定着などを織り込んだ上で、老朽火力の最大限の活用等を前提に、いずれの電力管内でも電力の安定供給に最低限必要な予備率 3%以上を確保できる見通しである。

ただし、関西電力及び九州電力管内は、単独では予備率 3%を確保できず、他地域から受電せざるを得ないという厳しい状況にある。また、老朽火力を含む発電所の計画外停止は依然として増加傾向にあり、このまま火力発電所の稼働が高水準で推移すると、大規模な電源脱落が発生し、電力需給がひっ迫する可能性もあり、引き続き電力需給は予断を許さない状況である。

<2015 年 8 月の電力需給見通し>

(万kW)	東日本 3社	北海道	東北	東京	中西日本 6社	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力	沖縄
最大電力需要	7,007	472	1,445	5,090	9,253	2,597	2,791	545	1,128	549	1,643	16,260	156
供給力	7,687	513	1,524	5,650	9,706	2,725	2,875	580	1,217	616	1,693	17,393	225
供給-需要	680	41	79	560	453	128	84	35	89	67	50	1,133	68
予備率	9.7%	8.7%	5.5%	11.0%	4.9%	4.9%	3.0%	6.4%	7.9%	12.1%	3.0%	7.0%	43.7%

(参考 1)仮に電力間融通を行わなかった場合

(万kW)	東日本 3社	北海道	東北	東京	中西日本 6社	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力	沖縄
最大電力需要	7,007	472	1,445	5,090	9,253	2,597	2,791	545	1,128	549	1,643	16,260	156
供給力	7,687	513	1,524	5,650	9,647	2,765	2,813	580	1,286	616	1,688	17,334	225
供給-需要	680	41	79	560	394	168	22	35	158	67	▲55	1,074	68
予備率	9.7%	8.7%	5.5%	11.0%	4.3%	6.4%	0.6%	6.4%	14.0%	12.1%	▲3.3%	6.6%	43.7%

(参考 2) 仮に川内原子力発電所が稼働した場合

○1 機目が稼働した場合

(万kW)	東日本 3社	北海道	東北	東京	中西日本 6社	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力	沖縄
最大電力需要	7,007	472	1,445	5,090	9,253	2,597	2,791	545	1,128	549	1,643	16,260	156
供給力	7,687	513	1,524	5,650	9,801	2,745	2,875	580	1,258	616	1,727	17,488	225
供給-需要	680	41	79	560	547	148	84	35	130	67	84	1,228	68
予備率	9.7%	8.7%	5.5%	11.0%	5.9%	5.7%	3.0%	6.4%	11.6%	12.1%	5.1%	7.5%	43.7%

※九州電力管内は単独で予備率 3%以上を確保できるため、他地域からの受電は不要となる。

○2 機目が稼働した場合

(万kW)	東日本 3社	北海道	東北	東京	中西日本 6社	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	9電力	沖縄
最大電力需要	7,007	472	1,445	5,090	9,253	2,597	2,791	545	1,128	549	1,643	16,260	156
供給力	7,687	513	1,524	5,650	9,896	2,745	2,875	580	1,258	616	1,822	17,583	225
供給-需要	680	41	79	560	643	148	84	35	130	67	179	1,323	68
予備率	9.7%	8.7%	5.5%	11.0%	6.9%	5.7%	3.0%	6.4%	11.6%	12.1%	10.9%	8.1%	43.7%

2. 2015 年度夏季の電力需給対策

(1) 節電協力要請(数値目標を設けない)

- ① 現在定着している節電の取組が、国民生活、経済活動等への影響を極力回避した無理のない形で、確実に行われるよう、全国(沖縄電力管内を除く)で節電の協力を要請する。節電協力要請に当たっては、高齢者や乳幼児等の弱者、熱中症等の健康被害に対して、配慮を行う。

※2015 年度夏季の需給見通しにおいて、節電の定着分(2010 年度最大電力比)として以下の数値を見込んでいる。これらは節電を行うに当たっての目安となる。

北海道電力管内 ▲7.1% 東北電力管内 ▲4.4% 東京電力管内 ▲12.2%
 中部電力管内 ▲4.9% 関西電力管内 ▲10.0% 北陸電力管内 ▲4.4%
 中国電力管内 ▲3.7% 四国電力管内 ▲6.0% 九州電力管内 ▲8.6%

② 節電協力要請期間・時間帯

2015 年 7 月 1 日(水)から 2015 年 9 月 30 日(水)までの平日(ただし、8 月 13 日(木)及び 14 日(金)を除く。)の 9:00 から 20:00 までの時間帯とする。

(2) 需給ひっ迫への備え

大規模な電源脱落等により、万が一、電力需給がひっ迫する場合への備えとして、以下の対策を行う。

- ① 発電所等の計画外停止のリスクを最小化するため、電力会社に対して、発電設備等の保守・保全を強化することを要請する。

- ②電力の安定供給を確保するため、電力広域的運営推進機関に対して、電力会社管内の需給状況を改善する必要があると認められる時は、他の電力会社に対し、速やかに融通を指示するなど必要な対応を講じることを要請する。
- ③自家発電設備の活用を図るため、中西日本において設備の増強等を行う事業者に対して補助を行う。
- ④電力会社に対して、随時調整契約等の積み増し、デマンドリスポンス等、需要面での取組の促進を図ることを要請する。
- ⑤需要家の節電を促進するため、事業者及び家庭向けに具体的でわかりやすい節電メニューの周知や需要家と連動した「節電・省エネキャンペーン」を行う。

(3) ひっ迫に備えた情報発信

- ①電力会社は、電力需給状況や予想電力需要についての情報発信を自ら行うとともに、民間事業者等(インターネット事業者等)への情報提供を積極的に行う。
- ②上記の対策にもかかわらず、電力需給のひっ迫が予想される場合には、政府は、「需給ひっ迫警報」を発出し、一層の節電の協力を要請する。

ご家庭における節電のお願い

平素より弊社事業にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、日頃から、節電にご協力をいただき重ねて御礼申し上げます。

この夏におきましては、さまざまな電力需給対策に最大限取り組むことにより、電力を安定供給するうえで最低限必要な供給予備力は確保できる見通しです。

しかしながら、今夏の需給見通しには、ご家庭や企業における節電の定着分を織り込んでおりますので、お客さまには、引き続き無理のない範囲での節電に、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご家庭で節電をお願いしたい 期間・時間帯

7月1日(水)～9月30日(水)

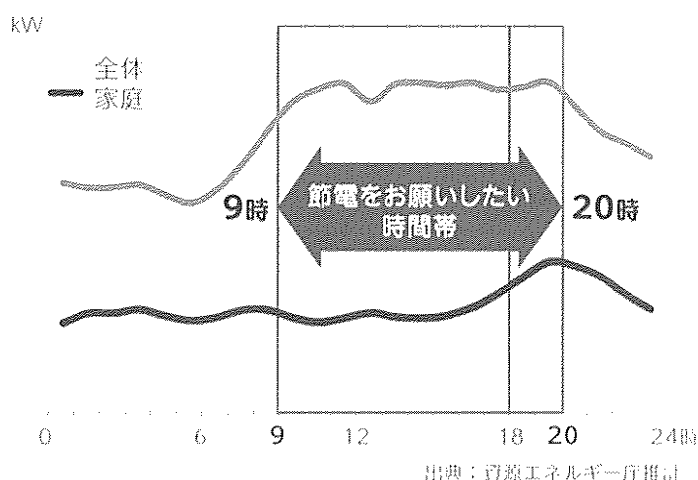
※お盆期間(8月13日および14日)を除く。

平日9時～20時

特にご家庭においては、電気のご使用が増える**夕方以降(18時～20時)の時間帯**のご協力をお願いします。

なお、この夏の需要として見込んでいる定着節電量の水準(2010年度最大電力比:▲7.1%)を目安に節電をお願いいたします。

夏の平日のご家庭での電気の使われ方(イメージ)



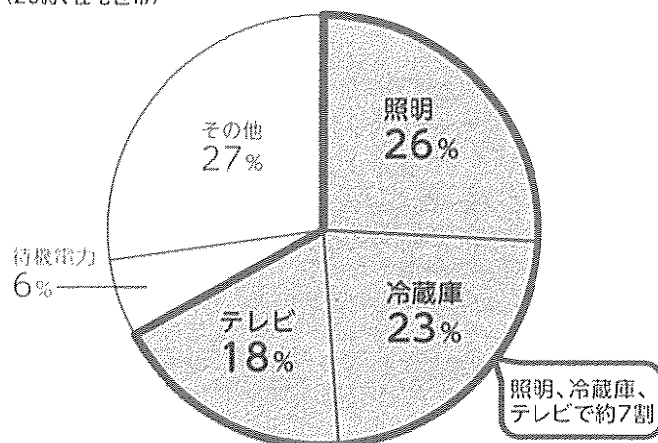
節電にご協力いただきたい 電気製品

照明、冷蔵庫、テレビなどを中心に、普段からお使いの電気製品について節電のご協力をお願いします。また、外出の際には待機電力等の削減もお願いします。

ご家庭において夏の20時頃、在宅世帯では平均で約700Wの電力を消費しており、**照明、冷蔵庫、テレビで約7割**を占めています。

外出中の場合でも、冷蔵庫、温水洗浄便座、待機電力などにより、平均で約200Wの電力を消費しています。

夏のご家庭での消費電力
(20時、在宅世帯)



ご家庭での具体的な節電方法

普段お使いの機器の使い方を工夫していただき、節電にご協力をお願いいたします。

リビング

照明

- 不要な照明をできるだけ消しましょう。

白熱電球(54W)1灯の点灯時間を1日1時間短くする。
●年間で電気約**20kWh**の省エネ

テレビ

- 画面の輝度を下げましょう。
- 必要なとき以外は消しましょう。

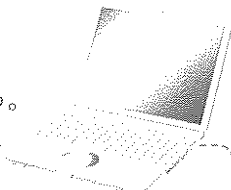


1日1時間テレビ(液晶32インチ)を見る時間を短くする。
●年間で電気約**17kWh**の省エネ

パソコン

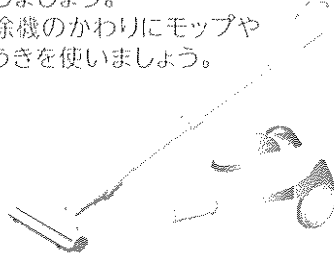
- 省電力設定を活用しましょう。

ノート型を1日1時間利用時間を短くする。
●年間で電気約**5kWh**の省エネ



掃除機

- 紙パック式はこまめにパックを交換しましょう。
- 掃除機のかわりにモップやほうきを使いましょう。



利用時間を1日1分短くする。
※部屋を片づけてから掃除機をかける。
●年間で電気約**5kWh**の省エネ

エアコン

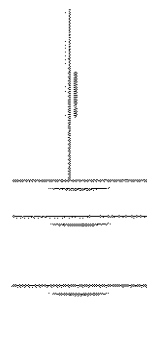
- 室温は28℃を目安に設定しましょう。
- 冷房は必要なときだけつけましょう。
※熱中症にご注意ください。

冷房設定温度を1℃上げて28℃にする。
※外気温31℃のとき、エアコン(2.2kW)の冷房設定温度を27℃から28℃にした場合(運転時間:9時間/日)
●年間で電気約**30kWh**の省エネ

キッチン

冷蔵庫

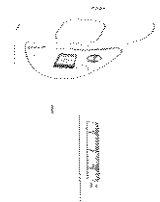
- 冷蔵庫の設定温度を控えめにしましょう。
※食品の傷みにご注意ください。
- 扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込み過ぎないようにしましょう。
- 壁との間に適切な間隔を空けて設置しましょう。



設定温度を「強」から「中」にする。
(周囲温度22℃)
●年間で電気約**62kWh**の省エネ

電気ポット

- お湯はコンロで沸かし、ポットの電源は切りましょう。



長時間使わないときはプラグを抜く。
※ポットに満タンの水2.2ℓを入れ沸騰させ、1.2ℓを使用後、6時間保温状態にした場合と、プラグを抜いて保温しないで再沸騰させて使用した場合の比較
●年間で電気約**107kWh**の省エネ

ユーティリティ

温水洗浄便座

- 温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用しましょう。
- 上記の機能がない場合、使わないときは、コンセントからプラグを抜きましょう。

洗浄水の温度設定を年間1段階下げた(中→弱)場合(貯湯式)
●年間で電気約**14kWh**の省エネ

洗濯機

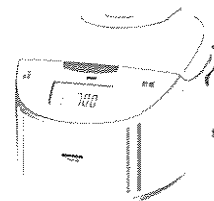
- 洗濯機の容量の8割を目安に、まとめて洗いをしましょう。



洗濯はまとめてする。
※定格容量(洗濯・脱水容量:6kg)の4割を入れて毎日洗う場合と、8割を入れて2日に1回洗う場合との比較
●年間で電気約**6kWh**の省エネ

炊飯器

- 早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存しましょう。

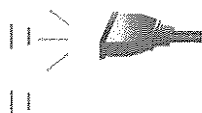


1日に7時間保温しコンセントに差し込んだ場合と、保温せずにコンセントからプラグを抜いた場合の比較
●年間で電気約**46kWh**の省エネ

その他

待機電力

- リモコンではなく、本体の主電源を切りましょう。
- 長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜きましょう。



省エネ型機器への買い替えも効果的

電気機器を買い替える時には、省エネラベルの星の数を参考にして、省エネ型機器への買い替えも効果的です。



〈統一省エネラベル〉

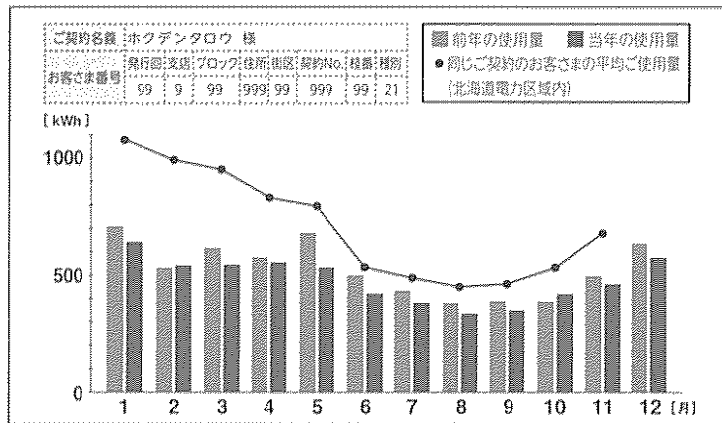
ご家庭での節電効果のご確認

Web料金お知らせサービス

毎月の電気ご使用量や料金などをインターネット上でご確認いただくサービスです。パソコンやスマートフォンからは、グラフで過去24か月のご使用量を見ることができるので、節電効果をひと目で把握できます。ご登録は無料ですので、ぜひこの機会にお申し込みください。

- 同じ契約のご家庭の平均ご使用量との比較ができます。
- 前月や前年同月等、過去のご使用量との比較ができます。
- ご希望のお客さまには、毎月のご使用量や料金をメールでお知らせします。

■過去24か月の使用実績画面イメージ



※サービスご利用時間: 午前7時から翌午前2時まで。
※本サービスご利用開始後は、「電気ご使用量のお知らせ」など、これまでの紙によるお知らせに代わり、Webおよびメールでのお知らせとなります。

ご利用登録は簡単です

登録無料

お手元に「電気ご使用量のお知らせ」や「電気料金請求書」などをご用意ください。

パソコン・スマートフォンから

ほくでん Web料金

検索

携帯電話から



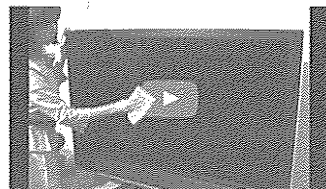
YouTube で節電動画を配信

ほくでん公式YouTube(ユーチューブ)チャンネルやほくでんホームページでは、ご家庭のさまざまなシーンでの節電について、動画でわかりやすくご紹介しています。ぜひご覧ください。

■キッチン



■リビング



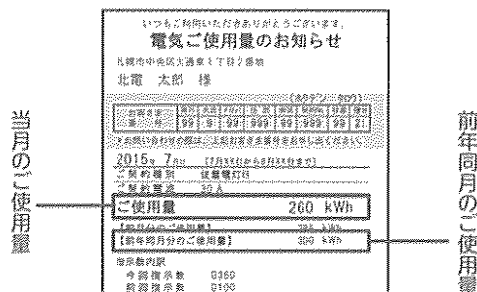
ほくでん YouTube

検索

電気ご使用量のお知らせ

毎月配布している「電気ご使用量のお知らせ」には、前年同月のご使用量が記載されていますので、節電効果の参考としてご確認いただけます。

■従量電灯や低圧電力をご契約のお客さま



節電チェックシート

節電に取り組んでいただく際の目安となるよう、節電効果を記載しております。ご家庭における使用状況にあわせてご活用ください。

お願いしたい節電方法			節電効果 (削減率)	チェック
①照明	不要な照明をできるだけ消しましょう。 ※照明の3割程度を消灯した場合。		7%	☐
②冷蔵庫	冷蔵庫の設定温度を控えめにしましょう。扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込み過ぎないようにしましょう。 ※食品の傷みにご注意ください。		2%	☐
③テレビ	省エネルギーモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消しましょう。 ※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合。		2%	☐
④温水洗浄便座	温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用しましょう。左記の機能がない場合、使わないときはコンセントからプラグを抜きましょう。 ※いずれかの対策を実施した場合。		1%	☐
⑤炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存しましょう。		3%	☐
⑥待機電力	リモコンではなく、本体の主電源を切りましょう。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜きましょう。		3%	☐

※節電効果の値は、在宅家庭のピーク時の消費電力(約700W)に対する削減率の目安です。(資源エネルギー庁推計)

「でんき予報」のご案内

■ほくでんホームページ
「でんき予報」(イメージ)

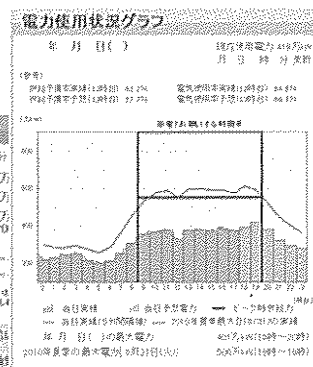
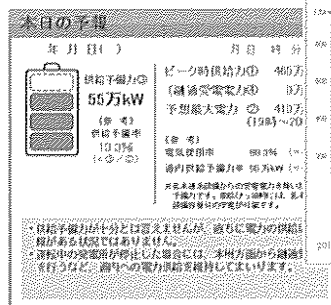


Figure 1 shows four battery level icons representing different states:

- 安定 (Stable):** The battery is fully charged, indicated by a solid black bar at the top.
- やや厳しい (Slightly Strict):** The battery is partially charged, indicated by a solid black bar in the middle.
- 厳しい (Strict):** The battery is low, indicated by a solid black bar at the bottom.
- 非常に厳しい (Very Strict):** The battery is very low, indicated by a solid black bar at the bottom, with a dashed line above it.



ほくでんからの「需給ひっ迫のお知らせメール」について

前日の18時頃 翌日の供給予備率が3%を下回ると見込まれる場合にお知らせ。	当日の9時頃 当日の供給予備率が3%を下回ると見込まれる場合にお知らせ。
--	---

※上記以外においても、需給状況に関するお知らせを配信することがあります。なお、早朝・深夜の時間帯については、配信しないことがあります。

平成26年度冬季にご登録いただいていたお客さまは、自動登録されますので、あらためてのご登録は不要です。



パソコン・スマートフォンから

http://www.hepco.co.jp/shortage_info/

ほくでん 需給ひっ迫のお知らせ

檢 索

節電に関するお問い合わせ

旭川支店 お客様センター (0166)23-1121
稚内営業所 お客様センター (0162)23-4001
浜頓別営業所 お客様センター (01634)2-2008
名寄営業所 お客様センター (01654)3-2131
留萌営業所 お客様センター (0164)42-1390
深川営業所 お客様センター (0164)22-4111
富良野営業所 お客様センター (0167)23-4131

札幌東支社 お客様センター(011)892-8111
札幌南支社 お客様センター(011)572-1111
千歳支社 お客様センター (0123)23-5101

根室営業所 お客さまセンター(0153)24-3181

帯広支店 お客さまセンター (0155)24-5161

北見支店 お客さまセンター (0157)26-1111
紋別営業所 お客さまセンター (0158)24-3121
遠軽営業所 お客さまセンター (0158)42-2185
網走営業所 お客さまセンター (0152)43-4106

小樽支店 お客様センター (0134)23-1111
余市営業所 お客様センター(0135)23-2161
岩内営業所 お客様センター(0135)62-1512
倶知安営業所 お客様センター(0136)22-0150

室蘭支店 お客さまセンター (0143)47-1111

苫小牧支店 お客さまセンター(0144)32-5321
富川営業所 お客さまセンター(01456)2-0019
静内営業所 お客さまセンター(0146)42-0009
浦河営業所 お客さまセンター(0146)22-2108

札幌支店 お客様センター (011)251-1111
札幌北支社 お客様センター (011)772-7101
札幌西支社 お客様センター (011)662-2171

釧路支店 お客様センター (0154)23-1111
 中標津営業所 お客様センター(0153)72-2010
 弟子屈営業所 お客様センター(015)482-2019

函館支店 お客様センター (0138)22-4111
八雲営業所 お客様センター(0137)62-2531
江差営業所 お客様センター(0139)52-0085
福島営業所 お客様センター(0139)47-2021

※電話がつながりにくい場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※営業所への電話によるお問い合わせは、自動転送により、管轄する支店で
承る場合がございます。

www.hepco.co.jp

ほくでん 節雷

檢索